

安定取引関係確立事業活動の概要

事業者：味の素冷凍食品株式会社

安定取引関係
確立事業活動

計画概要

国内全6工場において2021年度から4年連続で達成した資源化率100%（工場から出るすべての動植物性残渣をごみとして捨てずに飼料化・堆肥化によって資源として活用すること）を進化させ、資源循環スキーム（資源化によってできた堆肥を用いて栽培したキャベツなどを当社工場の冷凍ギョーザの原材料として活用するスキーム）を構築・展開し、動植物性残渣の資源化と生産現場での活用による資源の有効利用に加え、原材料を生産する農業生産者との持続的な安定取引の拡大を図る。

目標 令和8年4月～令和12年3月（%は令和7年比）

資源循環スキームに基づく国内キャベツ生産者との取引を拡大し、年間使用量を現在から令和12年までに650%増加させる。

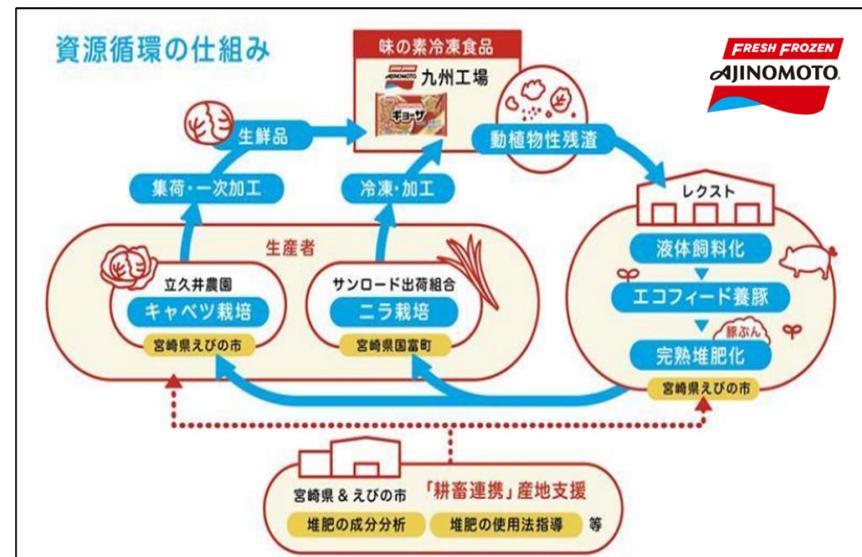
食料システムへの寄与

冷凍ギョーザの主要原材料であるキャベツの資源循環スキームを構築し、継続・拡大することで、生産者の収益の安定化及び地域の農業の振興に寄与する。

さらに、環境に配慮した商品の選択を求める消費者のニーズに応じた商品を安定的に提供することで、消費者の利益に寄与する。

計画のイメージ

九州工場における資源循環スキーム



(2025年12月19日認定)